

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、専門学校麻生工科自動車大学校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

平成28年6月23日

校 長 野見山 秀 樹

自己点検・評価責任者
校長代行 安 部 倫太郎

学校関係者評価報告書

専門学校 麻生工科自動車大学校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況.....	- 2 -
1. 学校関係者評価の目的.....	- 2 -
2. 学校関係者評価の基本方針.....	- 2 -
3. 学校関係者評価委員名簿.....	- 2 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時.....	- 2 -
5. 学校関係者評価方法.....	- 2 -
II. 学校関係者評価内容.....	- 3 -
基準 1 理念・目的.....	- 3 -
基準 2 教育の内容.....	- 4 -
基準 3 教育の実施体制.....	- 6 -
基準 4 教育目標の達成度と教育効果.....	- 7 -
基準 5 学生支援.....	- 8 -
基準 6 学生募集・受け入れ.....	- 11 -
基準 7 社会的活動.....	- 12 -
基準 8 管理運営.....	- 13 -
基準 9 財 務.....	- 15 -
基準10 改革・改善.....	- 16 -

平成27年度
(2015年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、専門学校麻生工科自動車大学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員名簿

	氏 名	所 属
団体	下村 輝夫	ものづくり人材育成センター
企業	下西 明	ダイハツ九州株式会社
企業	江崎 雅弘	福岡トヨタ自動車株式会社
企業	市川 利治	福岡トヨタ自動車株式会社
高 校	大和 豊	筑紫台高等学校
地域住民	村上 伸二	東比恵 2 丁目町内会
卒 業 生	杉本 誠	2 級自動車整備科 2 期生
保 護 者	林 紀子	1 級自動車整備科 7 期生保護者

敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成 28 年 6 月 23 日（木） 13:00 ～ 14:50

場所：専門学校 麻生工科自動車大学校 7 階講堂

5. 学校関係者評価方法

平成 27 年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S：達成度が高い
 A：ほぼ達成している
 B：達成しているがやや不十分
 C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

項目総括

建学の精神については、校訓「無私」を麻生塾の基本価値とし教職員・学生の心のよりどころとすることを、学生便覧等に明文化して浸透を図っています。学外に対しては Web サイトで紹介しています。新任の教職員には、グループ企業研修会の際に麻生塾発祥の地に建立している「無私」の碑を見学し、その由来を説明しています。

また麻生塾では、創立当初より企業や組織に求められる人材を育成することを理念として専門教育を行ってきました。この理念は麻生塾のミッションの一部として明文化して、学内に掲示等を行っており、学外には Web サイトで紹介しています。学科の目標(育成人材像)および教育計画(カリキュラム)は文書化し、学生便覧および Web サイトで学内外に提示・公表しています。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・建学の精神、法人の理念、教育の理念、目的、人材像は必要不可欠でそれが共有されていることは学校全体の意欲のあらわれだと感じる。

・職員、学生間でのコミュニケーションを図り、更なる展開を行ってください。

中項目 1-1

建学の精神、法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像は、明文化し社会に公表しているか。
理念は学校法人から各学校、各学科等、各レベルの理念や目的に展開し、学校構成員に共有されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 1-1-1

学校創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図り、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させている。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画は文書化し、学校構成員に提示・共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

=====

基準 2 教育の内容

=====

項目総括

教育目標や人材育成像は各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、学科の教育期間で到達可能なレベルとしています。また、カリキュラムは教務会議やカリキュラム会議等で検討し体系的に編成しており、各科目間のつながりも適正です。カリキュラム作成においては、広報課から高校関係者のヒアリングを行うとともに、平成 25 年度より業界関係者・有識者などの関係者で構成される教育課程編成委員会を発足させ、同委員会の意見を参考にカリキュラム開発を行っております。

また、就職課からの業界情報を教務にフィードバックし、カリキュラム開発を行っています。教科ごとのシラバスを作成しており事前に学生に配布し、到達目標を説明しています。

授業評価は教師アンケートを実施しており、結果をフィードバックすることにより授業の改善に繋がっています。教員については学科の育成目標に向けた授業を行うことができる要件をみたしており、人材開発システムに基づきスキルの向上を図っています。成績評価・単位認定は明確に定められており学生便覧で周知しています。資格取得については、各学科で明確に定められています。

主な課題及び改善の方向性

コマシラバスは内容を充実させ、運用してまいります。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・学生による授業評価を定期的に行っていることはとても良い。それが授業改善にどう生かされているかを知りたい。
- ・企業とも連携されており、今後も継続してください。

中項目 2-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学校関係者評価委員会を実施し育成人材像及びカリキュラムを作成して社会に公表している。

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

「教育内容評価」の重要点として、学校・学科の「育成人材像」を明確にしている。カリキュラムの文書化について修業年限分の一覧表を作成し学生にも公開している。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教育課程編成委員会を実施し、各方面からの意見を取り入れカリキュラム作成に反映させている。

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

各教科で半期ごとに見直しをしているが毎日のコマシラバスのチェックがされておらず、十分なコマシラバスとは言えない。内容を精査するとともに今後運用に繋げる。

中項目 2-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みがされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

授業アンケートを年2回以上実施し、面談及び改善項目をフィードバックし改善記録を保管している。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会(FD)等)

■自己点検・評価結果： S

■コメント

チューター制度や面談等を充実させる

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

就職指導研修や教科勉強会を実施している。

中項目 2-3

各学科の教育目的、育成人材像に向けた業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

インターンシップを実施して、報告書の作成・記録をしている。

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

GCB 教育、マナー教育、新聞を活用した授業を行っている。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

入学予定者に対して事前課題を与えている。入学後も随時補習を実施している。

=====

基準 3 教育の実施体制

=====

項目総括

教育環境については教育目標の達成や人材育成がスムーズに行われるように教職員を組織化しており、キックオフ会議資料に掲載しています。

学校の年間スケジュールに関しては年間ターム表を作成し教職員・非常勤講師・学生に配布し周知できるようにしています。就職支援に関しては、就職課を設置し、求人検索システム・求人票・企業パンフレット・受験マニュアル・受験報告書などのツールを揃えとともに、各学科や地域の求人に対応できる専属の就職担当者を設け、クラス担任と連携を取り就職のサポートを行っています。

学内外の安全対策に関しては防災・防犯設備の点検や避難経路の掲示や避難訓練を行い、学校生活における行事、実習の保険に加入しています。

主な課題及び改善の方向性

学校の教育理念、学科の教育目的、育成人材像に向けた教育を実施してまいります。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・小項目3-2-4図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えているか では該当なしという評価よりグループ校にあるのであればCまたはB評価をつけるべきではないのか。

・授業参観を実施してみたい

・図書室以外の教育環境は問題なし

・様々な行事を通して多くの事を学んでいる。

中項目 3-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育の実施体制は整備されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 3-1-1

教育目的を達成する優秀な人材を採用するために、適切な採用基準を設けているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

本校HPにおいて、教育理念、求める人材像、能力等における必要要件について明文化して募集活動を実施している。

小項目 3-1-2

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

各学科、学年に相応しい教員組織を整備している

小項目 3-1-3

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年1回講師会を実施している。また、毎日の授業報告書を担任が確認することで情報を共有している。

中項目 3-2

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育環境が整備・活用されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 3-2-4

該当なし

小項目 3-2-5

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所はあるか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

進路指導室を設け就職活動に必要な資料を備えている。

小項目 3-2-6

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

実習場利用規定を設け周知している。

小項目 3-2-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

法令に従い防災設備の整備・点検を実施し、防災訓練が行われている。

小項目 3-2-8

空調などの学校設備、机・イス等の教育備品、実習で使用する教具などの教育設備等を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

施設設備の保守・管理を定期的に行ない記録している

小項目 3-2-9

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： C (不適合)

■コメント

現在は、長期改修計画は作成されていないが、H28 年度に専門家による建物診断を実施する予定であり予算の手当ても行っている。

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

項目総括

年度開始前に学科会議で前年度の結果や評価を考慮し、学生に関する目標設定を行い、キックオフ会議で教職員が情報共有、周知できるようにしています。

就職に関しては各学科について月ごとの目標を設定しています。内定状況や学生の内定先など就職の動きが教職員で共有できるシステムを作成し、データの管理を行っています。就職担当と担当教員で毎週実施している定期会議やミーティングを開き、学生の就職状況に関して検証を行い、教職員に対して学科会議などで定期的に報告を行っています。学校のパンフレット・HP・オープンキャンパス・入試説明会・保護者会などで外部に対して就職実績を公表しています。

評価・成績・資格・検定・退学に関しても担当者会議を設け目標設定を行い、結果や結果に対する検証を文書化し記録すると共に教務会議などで教職員で共有しています。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・就職率が良いのは学生の意欲はもちろん、親身な指導があるものと思う。
- ・常に PDCA を行なわれており、今後も継続してください。

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価がされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また結果について記録し、検証・報告したか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

麻生塾システムに記録。成績評価を基に検証・報告を実施している。

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 検定結果報告書で報告し、教務会議にて検証・改善を行っている

小項目 4-1-3

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 検定結果報告書で報告し、教務会議にて検証を行っている

小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

毎年設定し、事業計画書に記載している。前年度の検証を実施し、就職キックオフ等で就職スケジュールを周知している。

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 毎年設定し、事業計画書に記載し共有している。

小項目 4-1-6

卒業生(同窓生)の進路・就職先等を記録し、公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 学校システム(麻生塾システム)に記録している

小項目 4-1-7

卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業生の就職先へ定期訪問やアンケートにより、入社1年経過者、3年経過者の在籍確認を実施している。

基準 5 学生支援

項目総括

平成27年度の求人数は403件で堅調に推移しました、就職率に関しては平成28年3月末で100%を達成しています。各種学内説明会については、平成27年度は110社の企業様にご来校いただき、学内で説明会・選考会を実施していただきました。

他に企業別面接指導や業界理解セミナー、職業理解セミナーなど企業人事担当・OB・OGを招聘し積極的に実施しました。

学生相談に関してはカウンセラーが相談に応じます。学生の経済的な支援は分割納入制度や各種奨学金について学生課が行っており有効に機能しています。学生の健康管理については、毎年健康診断をおこなっており、必要に応じて校医と連絡を取り予防措置等を図っています。

主な課題及び改善の方向性

学内説明会について昨年度の約3倍の企業様にご来校いただき、進路指導に大きな幅を持たせることが出来ました。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・専門学校にとって就職はとても大事なことなので就職状況を把握されていることは心強いことである。

中項目 5-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 5-1-1

担任による学生の面談を定期的に行ない、面談内容を記録しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

定期的に個人面談や三者面談を実施し、ガイダンス記録表に記録している。

小項目 5-1-2

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいて、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

有資格者が進路指導等を実施している。

小項目 5-1-3

担任以外にスクールカウンセラーに相談できる体制が整っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

定期的にカウンセラーが学内を訪問し、学生相談を行っている。

小項目 5-1-4

学内に、ハラスメントに関する相談窓口があり、有効に機能しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

ハラスメント委員を設置し相談窓口を設けているが、学校の仕組み等が学生に周知徹底が出来ておらず、担任判断で適宜案内をしている

小項目 5-1-5

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

計画的に三者面談を実施している

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援があるか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

奨学金制度や学校独自の学費免除制度、分納制度が確立している。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

国際交流センターと連携し、留学生受け入れ制度があり、支援を行っている。

小項目 5-1-8

直営の学生寮等、学生の生活支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

直営の学生寮や提携寮があり生活支援を行っている。

小項目 5-1-9

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各クラブ活動に顧問を置き、活性化・支援を行っている。

中項目 5-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 5-2-10

卒業生の会(同窓会等)があり学校情報の提供や卒業生同士の交流がなされているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

校友会(麻生塾の同窓会組織)を設けている

小項目 5-2-11

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

校友会の再就職斡旋希望者向けに、Webサイトを使用して求人紹介を実施している。

小項目 5-2-12

卒業生の就業先へ定期的な訪問をして就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業生の就職先へ定期訪問やアンケートにより、卒業生の状況を把握している。

中項目 5-3

学校情報を適切に提供しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 5-3-13

学校情報を卒業生に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

SNSやパンフレット等を定期的に更新し学校情報を知らせている。

小項目 5-3-14

学校情報を保護者に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

SNSやパンフレット等を定期的に更新し学校情報を知らせている。

小項目 5-3-15

学校情報を高等学校等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

SNSやパンフレット等を定期的に更新し学校情報を知らせている。

小項目 5-3-16

学校情報を企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

SNSやパンフレット等を定期的に更新し学校情報を知らせている。

=====

基準 6 学生募集・受け入れ

=====

項目総括

平成27年度は、24回のオープンキャンパスと9回の入試を実施しました。願書提出数は186名(昨年は182名)で、入学予定者数は167名となりました。平成28年度は、23回のオープンキャンパスと11回の入試を予定しています。

主な課題及び改善の方向性

これから更なる18歳人口の減少が続くため、留学生も含めた募集活動の拡大と、小中学生からクルマ好きを増やしていくような活動が必要と思われます。

■学校関係者評価結果:適合

学校関係者評価 評価者のご意見

・詳細をきちんと公表することは高校生が進路を決める上で参考となる。

=====

中項目 6-1

学生募集活動は適正に行ない、入学選考は公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果:適合

■自己点検・評価結果: **S**

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果: **S**

■コメント

募集用パンフレットに明示している

小項目 6-1-2

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等が明示されているか。

■自己点検・評価結果: **S**

■コメント

募集用パンフレットに明示している

小項目 6-1-3

学校案内等には学費・教材費等がわかりやすく明示され、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果: **S**

■コメント

募集要項に明示している

小項目 6-1-4

学校案内に入学者の選抜方法が明示されて、入学者選考を公正かつ適切に実施し、定期的に検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果: **S**

■コメント

募集要項に明示している

小項目 6-1-5

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか。

■自己点検・評価結果: **S**

■コメント

パンフレット、ホームページで公表している

小項目 6-1-6

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果: **S**

■コメント

学科編成会議を実施し、各学科の収容定員に基づき適正に管理している。

=====

基準 7 社会的活動

=====

項目総括

教育ノウハウを活用した職業訓練や緊急雇用対策事業、NPO法人・ボランティア団体等への支援や職員の参加奨励、国内外からの教育施設見学受入など積極的に社会貢献を進めています。また、学生のボランティア活動は、推進委員会を設け教育内容を生かし連携を図りながら推進しています。

地域貢献への取り組みとして、小学生を学校に招いての職業体験イベントや、中学校に出向いて社会人講話などを実施しています。

主な課題及び改善の方向性

社会的活動も定着しつつあるが、さらに社会貢献を進めていきます。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・今はどこでも地域貢献が求められている。社会貢献、地域貢献を今後も続けてほしい。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 7-1-1

目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

地域における社会活動等を年度計画を作成し 実施している。

小項目 7-1-2

地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟して、定期的な会合に参加しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

- ・中小企業技術者人材育成事業関係機関連絡会議委員として加盟し、意見交換会へ参加している。
- ・福岡県自動車整備人材確保 育成地方連絡会へ加盟し会議に出席している。
- ・福岡FCVクラブに加盟し、戦略会議に参加している

小項目 7-1-3

地域貢献を目的とした無料公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

企業への設備提供、地元 小中学校対象の課外授業等を実施している。

小項目 7-1-4

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

お仕事スタジアムという職業紹介の無料イベントを企業と連携して毎年開催している

=====

基準 8 管理運営

=====

項目総括

麻生塾では社会に信頼される学校であり続けるためにコーポレートガバナンス体制の充実化とコンプライアンスの遵守徹底に努めています。

平成25年度からは人事考課制度である新人材マネジメント制度を実施し研修制度とリンクさせて教職員の資質向上に努めています。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・8-1-8 前年度は適合(文書化している)となっているが今回は不適合となっている。説明で理解しましたが表現は修正されるべきと思います

=====

中項目 8-1

学校の管理・運営体制が確立して、規定通りに運営しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： **A**

小項目 8-1-1

運営会議(MM 会議、共有会議、教務会議・部門会議等)は定期的に行っているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

校運営責任者を含めた学校運営に関わる会議を定期的に行っている。議事録を作成し、時系列で保管している。

小項目 8-1-2

組織の構成員のそれぞれの職務分掌は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

各学校・各部署、職位に基づく職務分掌を明確に文書化している。文書は教職員に公開している。

小項目 8-1-3

決裁規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

稟議規程は文書化しており、学内ポータルサイトで全職員に対して公開している。内容について、最新化されていない箇所があるため、内容を最新化の上、改訂する予定である。

小項目 8-1-4

人事規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

就業規則等について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-5

人事考課制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

人事評価制度は文書化しており教職員が閲覧できる。

小項目 8-1-6

昇進・昇格制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： **B**

■コメント

昇進昇格制度は文書化している。管理職向けには開示及び説明したが全教職員に開示までにはいたっていない。

小項目 8-1-7

賃金制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

給与規定について冊子化は各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-8

採用制度は文書化し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： C（不適合）

■コメント

一定の採用のルールはあるが、採用制度は文書化までいたっていない。

小項目 8-1-9

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化して、それに基づく訓練を定期的に行っているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

法令に従い防災訓練が行われている。各事例に沿った訓練が行われている。

小項目 8-1-10

個人情報保護規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

個人情報保護法に沿った規程を作成し文書化している。規程は公開している。規程は教職員に周知している。

小項目 8-1-11

ハラスメントに関する規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメント委員を設置し規定を文書化し適切に運用している。

小項目 8-1-12

SD(スタッフディベロップメント)に関する計画がありそれに基づき実施しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

SDに関する年間・長期計画を作成している。計画は教職員に共有している。各部署の「目標」を明確にし伴う「目的意義」「実行の具体」は定めている。

=====

基準 9 財 務

=====

項目総括

年度予算を計画的に管理しており、昨年から四半期ごとに経営会議に報告しています。またコンプライアンスを遵守し学校会計原則のルールに従い会計処理を行っています。

各校も監査ルールに従った監査を実施し文書による結果報告を行い正しい会計処理・運営に関して指導を行っています。外部監査も毎年受け承認を受けています。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

=====

中項目 9-1

財務体質が健全であり財務運営が適切に行なわれているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 9-1-1

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

中長期計画に基づいた毎年度の事業計画と予算が、関係部門の意見を集約し適切な時期に決定している。決定した事業計画と予算は速やかに関連部門に伝達している。

小項目 9-1-2

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年度予算を適正に執行し定期的な管理を行なっている。日常的な出納業務は円滑に実施している。

小項目 9-1-3

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告は文書等にて明確化しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

監査ルールは明文化していないが、外部監査については公認会計士の指導に基づき適正に行なっている。内部監査については、定期的に各校を訪問している。

小項目 9-1-4

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

常任理事会などで決定された「学校としての方針」に合わせて必要な事項を開示している。

小項目 9-1-5

固定資産管理規程を文書化し、固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

固定資産管理運用基準を設け、その基準に従って運用している。

小項目 9-1-6

該当なし

=====

基準10 改革・改善

=====

項目総括

自己点検・評価委員会を組織しており、評価項目ならびに評価時期を明文化しています。自己点検・評価の必要性、結果の検証ならびに改善計画についても、全教職員に向けて、キックオフ会議等で共有する機会を設けています。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

H27 年度第 2 回の学校関係者評価委員会の結果が公開されているか。公開されたPDF情報が印刷不可となっている意図を確認したい。

中項目 10-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、自己点検・評価活動の実施体制が確立して、改革・改善のためのシステム構築をしているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールを文書化し、実施および改善のための組織化し活動しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自己点検・評価を円滑に実施するために、自己点検・評価の目的や方法は文書化している。教職員の意識向上を図り、有意義な運営を目指している。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

適宜、全職員へ情報共有できる機会を設けている。

小項目 10-1-3

自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

自己点検・評価は毎年実施している。改善計画を作成している。

小項目 10-1-4

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトに公開しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

自己点検・評価報告書は公表している。